

健康産業新聞

第1398号

発行所 UBMメディア株式会社
 本社 ●〒101-0044 東京都千代田区
 鍛冶町1-8-3 神田91ビル
 ☎03(5296)1011 内 FAX 03(5296)1010
 ◆年間購読料21,000円(消費税込み)
 (郵便振替00190-1-20833)

THE HEALTH INDUSTRY NEWS ©UBMメディア株式会社 2011

日本人対象の大規模研究

葉酸・VB6「動脈硬化を予防」

葉酸・ビタミンB6の摂取で、日本人の脳卒中や虚血性心疾患などによる死亡リスクを低下できることが、日本人を対象とした研究で明らかになった。大規模なコホート研究により、葉酸・ビタミンB6を十分に摂取することで、動脈硬化を予防できる可能性が示唆された。健康食品業界で葉酸などの役割が注目される中、日本人を対象とした今回の研究は追い風となりそうだ。



記事要約

研究成果は、厚労省科研費の循環器・糖尿病等生活習慣病対策研究事業による「大規模コホート共同研究による生活習慣病発症予防データベース構築とその高度利用に関する研究」の2011年度研究報告書に収載された。

研究は、2003年までの14年間、58,000人を対象に、1日当たりのビタミンBの摂取量に応じ5つのグループに分け、虚血性心疾患・脳梗塞リスクとの関連を追跡調査した。

研究結果によると、女性の場合、葉酸の摂取量が最も多いグループは、最も少ないグループと比べ、虚血性心疾患の脂肪リスクが43%低下。ビタミンB6に付いては53%も低くなった。男性では、葉酸で50%、ビタミンB6で61%低下した。また、女性の脳梗塞の死亡リスクは、ビタミンB6で、54%低くなった。

報告書によると、葉酸や、ビタミンB6、B12が不足すると、血液中のホモシステイン値が上昇。これにより、血管内皮細胞機能の低下や血小板凝集能の亢進などが起こり、動脈硬化につながると考えられている。

こうした結果から、日本人について葉酸、ビタミンB6の摂取が脳梗塞、虚血性心疾患、心不全の死亡リスク低減に関連していると報告された。また、これまで報告されていた、欧米の研究内容と一致している。

長年にわたる研究活動と、世界の疫学調査を基に、商品発売当初からこれらビタミン類を配合している。更には、最近のライフスタイルに合致させて、天然型ビタミンB3やCoQ10も豊富に配合しています。弊社の商品をご愛用いただいている方々の健康維持と積極的な予防のために、「知っている人達だけが特をする」研究開発型企業だけの可能性！

ハイドロックス(株)の

ダービリアン・フコイダン Version D3 や、SIX STAR トータルサポートには、葉酸、ビタミンB6、B12が配合されています。

日頃からの予防が肝心です。